



「もんじゅ」のロゴマーク
智慧の象徴の文殊菩薩が乗って居られる
「獅子」をイメージしたもの

「もんじゅ」廃止措置第2段階に向けて

準備状況、今後の課題や役割について

2023年4月から「もんじゅ」廃止措置工程の第2段階がスタートします。第2段階に向けたこれまでの準備状況や今後の課題について、「もんじゅ」廃止措置の中心となる廃止措置計画課の職員に話を伺いました。

「もんじゅ」廃止措置工程の第1段階が3月末で終わり、いよいよ第2段階が始まりますが、開始にあたってこれまでどのような検討をしてきましたか？

2021年4月に廃止措置計画課を設置して作業の検討体制を強化し、廃止措置全体を広い視野で見第2段階への移行準備を進めてきました。

「もんじゅ」廃止措置の特徴は、「ナトリウム機器の解体」が工程の中核となっていることであり、廃止措置第2段階はその準備期間となります。安全最優先で、効率的かつ合理的に解体する観点から、「廃止措置計画全体像と第2段階のロードマップ」を定め、第2段階の完了条件をナトリウム搬出を含む4項目とし、完了時期を2031年度としました。また、ナトリウム機器の解体工事の段取りを定めることにより、「もんじゅ」廃止措置

の完遂に向けた見通しを得ることができたことも、大きな収穫であったと感じています。これらの成果により、第2段階前半を対象とした廃止措置計画の変更について、2023年2月に国から認可をいただくことができました。

今後、「もんじゅ」で働くすべての仲間が一体感を持って廃止措置に取り組めるよう進めていきたいと考えております。

第2段階の完了条件

- ① ナトリウムの搬出
- ② ナトリウム設備の解体着手準備完了
- ③ 解体着手前に実施すべき放射性廃棄物等に関する準備完了
- ④ 解体に向けた施設運用の最適化

「もんじゅ」廃止措置の第2段階を進めていく中での課題、果たすべき役割を教えてください。

第2段階においては、ナトリウムを系統から抜き出し、運搬用のタンクに移して搬出します。この抜き出しの際に、機器や配管の底に残るナトリウムについても、可能な限り専用の治具等で吸い出すことを検討しています。このようなナトリウム取扱技術については、今後の高速炉設計に反映すべき重要な視点が含まれていると考えています。

「もんじゅ」廃止措置を通じて得られる経験は、視点を変えることで今後の高速炉開発へ繋げることができ、そのような考え方を各世代で共有し、成果を発信していきたいと思っています。

今後も、謙虚な気持ちで、明るく、前向きに「もんじゅ」廃止措置の完遂に向けて、取り組んでまいりたいと思います。

話を伺った職員



高速増殖原型炉もんじゅ
廃止措置部 廃止措置計画課
課長 城隆久



高速増殖原型炉もんじゅ
廃止措置部 廃止措置計画課
マネージャー 小幡行史